HUE RISE
北海道教育大学　へき地・小規模校教育研究センター（通称：へき研センター）
Hokkaido University of Education Research Institute for Remote and Small School Education（aka HUERISE）
令和５年６月３０日発行　第１２８号

へきけんニュース

【ホームページ　https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/】
へき地教育に関するオンデマンド研修ビデオ・資料・フォーラム等のお知らせなどが豊富に掲載されています！
kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp
0154-44-3291　FAX 0154-44-3292

背景は北海道教育大学札幌校

北海道立教育研究所主催、北海道教育大学・北海道へき地・複式教育研究連盟共催の研修講座

「へき地・小規模校教育充実研修」を開催！

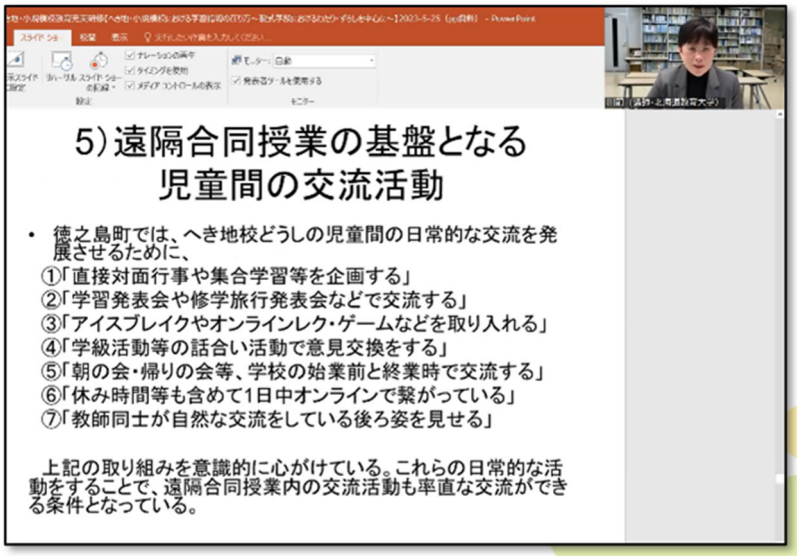
－定員20名のところ30名の教員が受講し、学校力の向上に活用！－

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

令和５年５月25日（木）に、北海道教育大学、北海道へき地・複式教育研究連盟、北海道立教育研究所の３者が主催となり、研修講座「へき地・小規模校教育充実研修」がオンラインで実施されました。定員20名でしたが、定員を大幅に超える30名の教員が受講されました。

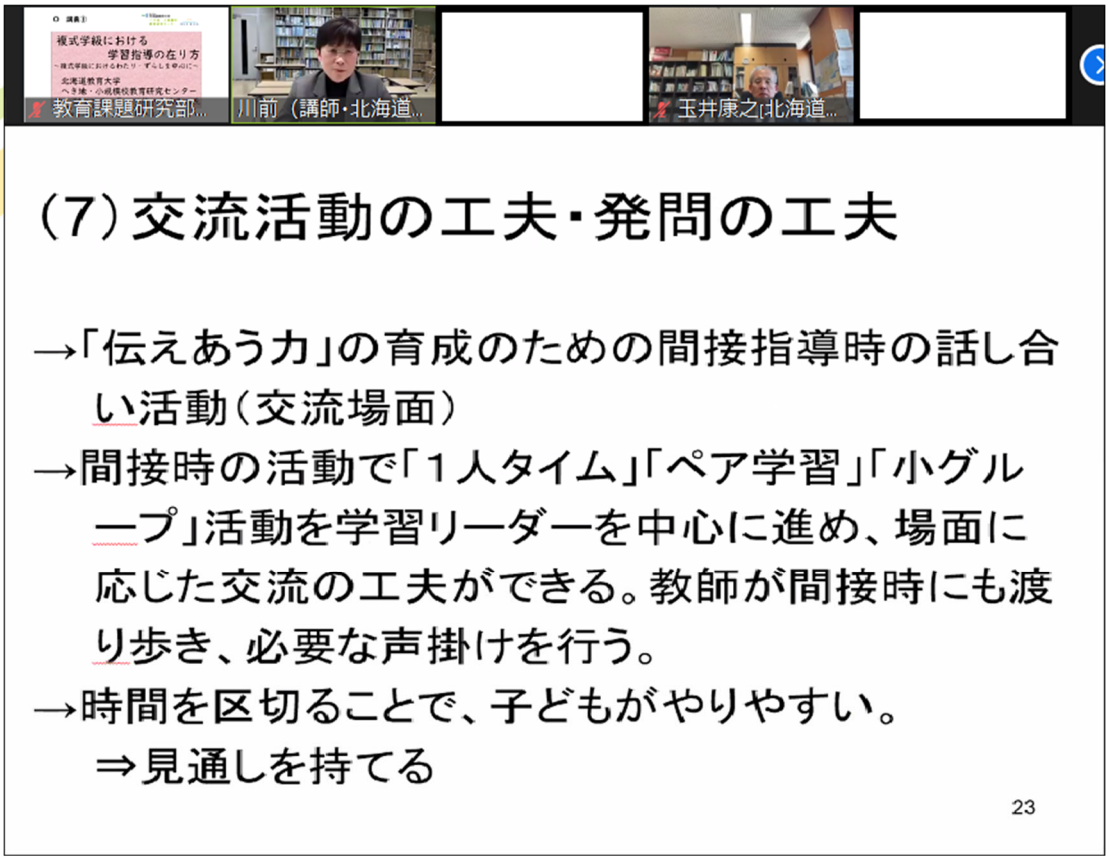
1.「へき地・小規模校における学習指導の在り方」

川前あゆみ　へき地・小規模校教育研究センター　副センター長



▲ 講義①　川前副センター長

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター　川前あゆみ副センター長の講義で研修が始まり、へき地・小規模校における学習指導の在り方について説明され、「何人いれば切磋琢磨できるのか」、「学習リーダーを育て、主体的な学びとなるような工夫をしていかなければならないが、子どもの理解には限界がある」などの問題提起をしていただき、協議で自らの指導を振り返るための示唆をいただきました。



▲ 川前先生のスライド

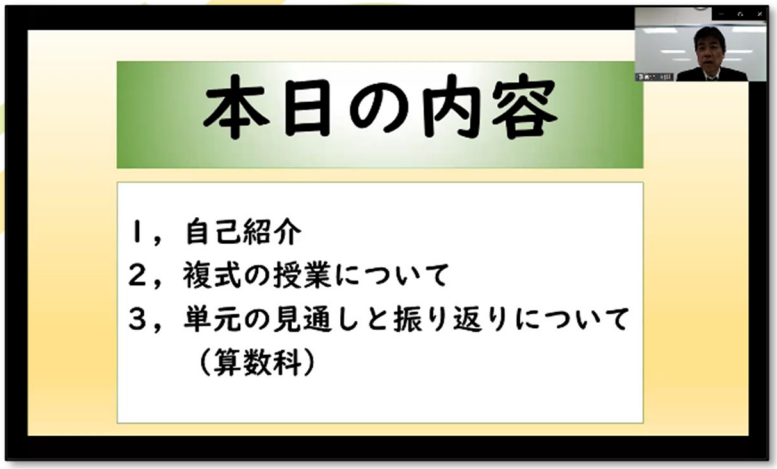
2.「へき地・小規模校における遠隔合同授業の実際」
前田　賢次　へき地・小規模校教育研究センター　センター員

「へき地・小規模校における遠隔合同授業の実際」について、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター　前田賢次センター員から、幌延町や積丹町、徳之島町の事例が紹介され、遠隔合同授業のメリット等や、遠隔合同授業は「多様な意見に触れたり、コミュニケーション力を培ったりする機会を創出する」といった、子どもたちのために行う「合同授業型」と「免許外教科担任が指導する学級と、当該教科の免許状を有する教師やその学級を結び、より専門的な指導を行う」といった「教師支援型」などの類型があることの説明がありました。

▲ 講義②　前田センター員

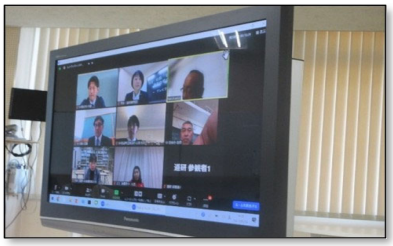
教科での活用であれば、主に国語や算数などで、単元の一部分として、発表や表現活動により、見方・考え方を広げるための時間を設定して遠隔合同授業を位置付けたり、できるだけ単発ではなく、必要に応じて複数回を一連の学習活動として位置付けたりすることが大切であることを強調されました。

3. 実践発表
苫小牧市立樽前小学校　瀧川　明　教諭



▲　実践発表　　瀧川教諭

その後の実践発表では、苫小牧市立樽前小学校　瀧川明教諭から複式学級における効果的な学習活動として、子どもが他学年からアドバイスを受けたことについて蓄積していったり、相手意識をもたせた振り返りを行ったりすることの重要性について発表していただきました。



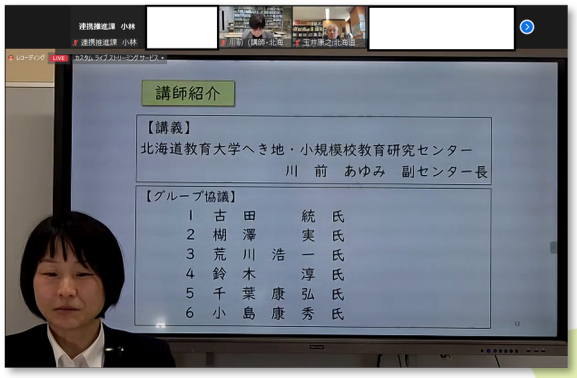
▲　演習･協議の様子

4. 演習･協議～日頃の悩みや工夫･課題を共有～

研究討議のコーディネーターは、北海道教育大学と北海道へき地・複式教育研究連盟の古田統先生・棚澤実先生・荒川浩一先生・鈴木淳先生・千葉康弘先生・小島康秀先生が担当されました。演習・協議では、ブレイクアウト機能を使い、職場実践で行うことについて交流したり、現在、先生方が抱えている課題を共有したりするなど、本日の２つの講義と実践発表を踏まえた積極的な交流が行われました。

受講者からは、「講義の最中にもグループ交流が位置付けられており、講師が説明されたことを適宜自分の中で確認することができました。また、グループ内で講師からのアドバイスをもらうこともできたため、とても有意義な講義でした。」「実践発表で説明された『相手意識をもたせた振り返りの手法』は、明日からの授業ですぐにでも取り入れたいと思いました。」「遠隔合同授業はハードルが高いと感じていましたが、今回、実践例を示しながら説明を受けたので、本校でも小さなところから実践してみようと思いました。」などの声が寄せられました。

この後、受講者は各学校に戻り職場実践を行い、その成果と課題をもって、12月７日（木）に第２回研修講座を受けることとしています。



▲　北海道立研究所　甲谷(かぶとや)　氏

▲　北海道立教育研究所内の遠隔型研修Ⅰの運営の様子
前列左から3番目･中澤美明所長

2023年長崎大学･鹿児島大学･琉球大学･北海道教育大学連携

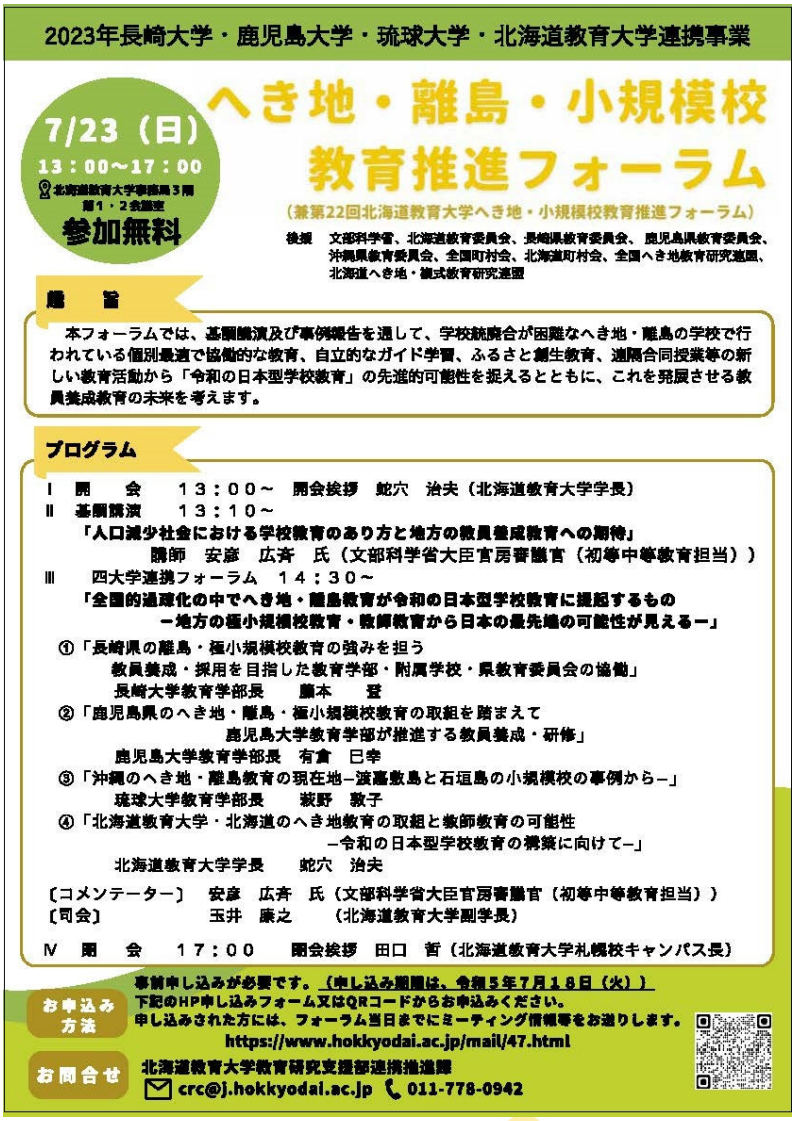
へき地･離島･小規模校教育推進フォーラムで
本学　蛇穴学長　が報告します！

北海道教育大学へき地･小規模校教育研究センター

来たる７月23日（日）に、長崎大学・鹿児島大学・琉球大学そして本学の４大学が連携した「へき地・離島・小規模校教育推進フォーラム」を開催します。

文部科学省大臣官房審議官（初等中等教育担当）の安彦　広斉　氏の講演をはじめ、長崎大学・鹿児島大学・琉球大学それぞれの教育学部長からのご発表、そして本学　蛇穴治夫学長からも「北海道教育大学・北海道のへき地教育の取組と教師教育の可能性　－令和の日本型学校教育の構築に向けて－」と題し、講演をいたします。

現在お申込みを受け付けておりますので、奮ってお申し込みください！！



ご案内

北海道へき地･複式教育研究連盟主催*第72回全道へき地複式教育研究大会が開催されます!

- 胆振大会(ファイナルステージ)
- 期日令和5年9月13日(水)13時～14日(木)16時
- 開催地 全体会･分散会:洞爺湖文化センター
- 分科会:胆振管内2市2町村